

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
	名称	株式会社 岩城			電話番号	0184-74-2100			
	所在地	秋田県由利本荘市岩城下蛇田字高城2番地1			FAX番号	0184-74-2637			
	設立年月日	平成26年4月1日			HPアドレス	http://k-iwaki.co.jp/index.html			
2	資本金	100,000千円	市出資金	85,300千円	市出資割合	85.3 %			
3	事業内容	1.道の駅「岩城」関連施設の管理運営(岩城総合交流ターミナル「ケベック」(売店、レストラン)、岩城温泉「港の湯」、岩城オートキャンプ場・コテージ等) 2.道の駅「岩城」に係る受託業務(駐車場、トイレ、休憩施設等の維持管理) 3.天鷲村、天鷲城等の観光施設及び遊園地の維持管理並びに同施設の運営業務 4.飲食店及び売店の経営 5.観光案内及び旅行斡旋 6.在宅配食サービス事業 7.各種イベントの企画立案及び運営管理業務 8.農産物の加工製造及び販売 9.地方公共団体の委託による日直業務及び諸届出書を受理する業務 10.労働者派遣事業 11.果実酒類の製造販売 12.農産物の缶詰加工及びジュースの製造販売 13.上記に関連する一切の事業							
4 財務状況(平成30年3月31日現在)									
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜き			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜き		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	75,048	77,682	64,625		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	337,131	338,146	302,148
	負債	41,870	48,183	52,752		(内市からの補助金・指定管理料)	39,128	39,128	39,128
	(有利子負債)	0	0	5,300		経常利益	6,172	△ 1,989	△ 17,294
	純資産	33,178	29,499	11,873		当期純利益	4,022	△ 3,679	△ 17,626
	利益剰余金	△ 78,872	△ 82,551	△ 88,127	減価償却前当期利益	6,391	△ 1,106	△ 14,676	
5 役職員の状況(平成30年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)			5 (退 0)		正職員数(うち市出向者・退職者)		14 (退 0)		
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(平成30年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)				
①補助金(助成金)		0	0	0					
②利子補給		0	0	0					
③税の減免額		0	0	0					
④その他		0	0	0					
小 計		0	0	0					
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額		0	0	0					
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用		0	0	0					
小 計		0	0	0					
合 計		0	0	0					
【参考】指定管理料(税込)		42,258	42,258	42,258	道の駅・天鷲村・天鷲村及び周辺施設・ワイン城				
(2) その他(平成30年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度					
①損失保証契約に係る債務残高		0	0	0					
②貸付金残高		0	0	0					
③出資金(増資等)		0	0	0					
合 計		0	0	0					
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第32期決算報告書(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第 3 2 期)

自 平成 2 9 年 4 月 1 日
至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

株式会社 岩城

由利本荘市岩城下蛇田字高城 2 番地 1

電話 0 1 8 4 - 7 4 - 2 1 0 0

株式会社 岩 城

平成 29 年度（第 32 期）事業経過報告書

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は皆様の温かいご支援とご協力により、「株式会社岩城」としてスタートし、早、四度目（平成 29 年度）の決算を向えることとなりました。

平成 29 年度の事業経過につきまして、下記のとおりご報告申し上げます。

【全体の実績経過】

今年度の売上実績は 257,889 千円で、昨年度比較（以下前年比と云う）△27,314 千円となりました。売上原価は 113,901 千円（前年比△9,125 千円）、により売上総利益は 143,988 千円（前年比△18,189 千円）総利益率 55.8%（前年比△1.1%）販売費及び一般管理費は 205,332 千円（前年比△3,936 千円）となりました。

従って、営業損失は 61,344 千円となり営業外収入 44,258 千円、営業外費用 209 千円等により経常収支は、残念ながら△17,294 千円（前年比△15,306 千円）となりました。特別損失（固定資産除却損）128 千円、法人税等 204 千円等により当期純損失は 17,626 千円（前年比△13,948 千円）となっております。

販売費及び一般管理費としては水道光熱費 50,381 千円（前年比 1,449 千円）と増加しましたが、広告宣伝費 1,637 千円（前年比△4,969 千円）が減少要因となっております。また、減価償却費 2,494 千円と 100%の計上をしております。

基本 5 ヶ年計画における平成 30 年度（岩城全体の計画は売上 276,000 千円、売上原価 118,000 千円、販売費及び一般管理費 196,000 千円、営業外収益 45,000 千円、営業外費用等 500 千円とし、経常利益 6,500 千円となっております。

【天鷲ワイン事業課】

【実績経過】

今年度の売上実績は 31,084 千円で前年比△105 千円となっております。売上原価 27,821 千円（前年比 2,025 千円）の結果、売上総利益は 3,263 千円（前年比△2,130 千円）総利益率 10.5%（前年比△6.8%）となりました。販売費及び一般管理費は 14,763 千円（前年比 170 千円）で推移し、営業損失△11,500

報告事項

千円となり、営業外収益 4,657 千円を加え、経常損失 6,843 千円 当期純損失は 6,911 千円（前年比△2,539 千円）となりました。

売上高の減少要因としては、秋田県酒類卸への依存度が高く同社の人員削減、合理化に伴い全体的に推進力、カバー率等が低下して来ております。また、生産調整のため原料仕入を一部控えたため結果的には、期末棚卸高が△2 百万円圧縮され損失増加の要因になりました。

昨年 1 1 月にさがけ新聞に、脚本家内館牧子さんのコラムで「秋田の酒を再発見」を掲載いただいたことから、県内外からの反響が大きく販路拡大に結びつきました。また、同月、盛岡のソムリエ松田幸氏による地元プラム農家を交えたプラムワイン研修会を道の駅で開催しました。ワインについての討論会を行い、その良さについて参加者一同再認識することが出来ました。

現在、原材料の安定確保のために、自社農園の苗木剪定及び農園環境整備を徹底し、糖度のある良質の果実生産に努めております。

また、今後も秋田県総合食品研究所との関係を密にして、品質の改良プラムの品種の違いと最適な酵母の相性等の共同研究を行ってまいります。

【今後の事業展開】

今年度も盛岡のソムリエ松田幸氏による地元プラム農家を交えたワイン研修会を定期的で開催しプラムワインの品質向上に努めてまいります。

矢島地域でワイン専用品種ブドウの生産を始めた方がおり、秋田県総合食品研究センターと共同で新しいワインの試験醸造を考えております。2～3 年を目途に軌道に乗せる方向で進めております。

また、お客様の嗜好の変化に伴う対応策として、より糖度の高い甘味果実酒製造免許取得についても検討してまいります。

基本 5 ヶ年計画における平成 30 年度天鷲ワイン事業課の計画は売上 33,000 千円、売上原価 26,000 千円、販売費及び一般管理費 11,000 千円、営業外収益 4,600 千円、営業外費用 100 千円とし、経常利益 500 千円となっております。

【天鷲村事業課】

【実績経過】

今年度の売上実績は 45,948 千円で前年比△17,784 千円となっております。売上原価は 17,704 千円（前年比△6,454 千円）、売上総利益は 28,244 千円（前年比△11,330 千円）総利益率 61.5%（前年比△0.6%）。販売費及び一般管理費は 46,065 千円（前年比△7,471 千円）により営業損失 17,821 千円となり、営業外収益 15,450 千円を加え、経常損失 2,414 千円（前年比△3,532 千円）、当期純

報告事項

損失は 2,610 千円となりました。

【売上状況】

売店部門	14,791 千円	前年比	△5,015 千円
食堂部門	14,257 千円	前年比	△5,803 千円
配食部門	2,157 千円	前年比	△ 61 千円
入村料	2,125 千円	前年比	△3,018 千円
受託業務	12,618 千円	前年比	△3,887 千円

昨年度は、「真田丸」放映の影響もあり、県内外から多くのお客様がお越しになり「真田関連オリジナルグッズ」「天鷲プラムワイン」はじめ地元特産品の販売が好調で売上実績を上げることが出来ました。今年度は、「真田丸」放映終了に伴い、来場者も大幅に減少し、各部門で売上実績が昨年を下回りました。

特に、食堂部門は、来店客の減少と宴会利用者の減少に加え、創作メニュー「天鷲六文ランチ」販売終了に伴い、前年を下回る実績で推移しました。

また、依然として、大型バス旅行の運行規則が大変厳しくなり、今まで開拓してきた商圏の団体客の獲得確保が非常に厳しい状況にあります。

配食部門は、メニューの見直し、配達員の声掛けや売店の商品宅配サービスによりクレームがなくなり利用者より評価を得ておりますが、利用者の介護施設への入居や他界なされ減少傾向にあります。

【販売費及び一般管理費状況】

増減幅の大きかった経費として

人件費	30,850 千円	前年比	△2,844 千円
車両用費	1,129 千円	前年比	456 千円
広告宣伝費	423 千円	前年比	△4,557 千円

※昨年度の広告宣伝費については、「真田企画展」装飾関連経費増によるもので、全額由利本荘市の補助金で対応しております。

【入場者数状況】

今年度の入場者数は 7,221 人です。前年比△10,249 人で推移しました。

昨年度は、亀田に縁のある NHK 大河ドラマ「真田丸」が放映されていることから、全国からたくさんのお客様が訪れ増加要因となりましたが、今年度は、放映終了と天候不順により昨年実績比 41.3%と大幅に減少しました。

報告事項

【今後の事業展開】

・食堂部門の改善に努め、アイランドパーク事業課との連携を一層強化し、お客様の満足度向上に心掛けてまいります。

市と連携した企画やイベントへの参加。また、お土産品の開発と商品化に積極的に取り組んでまいります。

基本5ヶ年計画における平成30年度天鷲村事業課の計画は売上48,000千円、売上原価17,000千円、販売費及び一般管理費45,000千円、営業外収益15,400千円、営業外費用200千円とし、経常利益1,200千円となっております。

【岩城アイランドパーク事業課】

【実績経過】

今年度の売上実績は187,007千円で前年比△10,698千円となっております。売上原価は74,526千円（前年比△5,969千円）、売上総利益は112,481千円（前年比△4,729千円）総利益率60.1%（前年比0.8%）となりました。販売費及び一般管理費144,505千円（前年比3,242千円）により営業損失は32,024千円となりました。

営業外収益24,152千円及び営業外費用165千円により経常損失は8,037千円（前年比△8,975千円）、当期純損失は8,105千円（前年比△7,882千円）となりました。

【売上状況】

売店部門	46,550千円	前年比	△4,696千円
レストラン部門	87,253千円	前年比	△4,100千円
温泉部門	38,707千円	前年比	△1,533千円
施設使用料	4,286千円	前年比	173千円
オートキャンプ場	7,563千円	前年比	△541千円
受託業務	2,648千円	前年比	同

4月以降、天候に恵まれず交流ターミナル等の来客にも大きな影響を与えています。売店部門売上については、去年は真田丸オリジナルポロシャツ、手ぬぐい等の販売が好調で売上を伸ばすことができましたが、放映終了とともに売上が減少しております。レストラン部門、温泉部門、オートキャンプ場についても天候不順の影響で客足が伸びず前年を下回って推移しております。

特に、6月開催予定であった「岩城・湯沢 旨いもの自慢」、7月開催予定であった「第33回洋上花火大会」が雨天中止となり。また、7月22日からの

報告事項

記録的な大雨の影響による断水等により夏休み初週、年間で最も来客数の多い時期に4日間営業出来なかったことが、減収、減益の大きな要因となっております。

【販売費及び一般管理費状況】

増減幅の大きかった経費としては

人件費	75,616 千円	前年比	2,770 千円
水道光熱費	44,399 千円	前年比	1,410 千円
リース料	1,934 千円	前年比	339 千円
広告宣伝費	601 千円	前年比	△ 373 千円

※減価償却 2,232 千円については、合併に伴い償却資産の再評価を行い100%の償却を行っております。

【入場者数状況】

交流ターミナル	233 千人	前年比	△23 千人
温泉館	152 千人	前年比	△ 1 千人
オートキャンプ場	4 千人	前年比	同

【今後の事業展開】

地魚をメインにしたレストランメニューが好評なことから、今後も地元産食材を積極的に活用したメニューの開発と提供に努めてまいります。また、食材価格が高値推移していることから、提供価格の見直しを行い収益向上に努めてまいります。道の駅の日、道の駅バトル、秋田由利牛指定店キャンペーン等に積極的に参画し、他の道の駅と連携した活動を行ってまいります。

施設整備では、温泉サウナのドア、腰掛台等が経年劣化してきており今年度中に改修する予定です。

経費面では、特に、水道光熱費部門において灯油価格の値上げ等により前年比 1,410 千円の増加になっており今後の懸念材料となっております。

財政面では未収金を前年比 80 千円圧縮することができましたが、8月に県の制度資金「中小企業災害復旧資金」長期融資 6 百万円を導入し資金の円滑化を図っており、固定負債額は増加となりました。

基本5ヶ年計画における岩城アイランドパーク事業課の平成30年度計画は売上 195,000 千円、売上原価 75,000 千円、販売費及び一般管理費 140,000 千円、営業外収益 25,000 千円とし、営業外費用 200 千円、経常利益 4,800 千円となっております。

敬具

貸借対照表

株式会社岩城

平成30年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 52,443,902】	【流 動 負 債】	【 39,148,097】
現 金	3,023,535	買 掛 金	6,196,111
預 金	4,411,656	短 期 借 入 金	15,000,000
売 掛 金	3,515,651	未 払 金	11,844,528
商 品	4,754,785	未 払 費 用	2,037,191
製 品	3,630,990	未 払 法 人 税 等	204,000
原 材 料	5,326,615	未 払 消 費 税 等	2,093,100
仕 掛 品	23,424,042	前 受 金	87,101
貯 蔵 品	2,409,007	預 り 金	1,686,066
前 払 費 用	91,376	【固 定 負 債】	【 13,603,670】
未 収 入 金	1,849,445	長 期 借 入 金	5,300,000
立 替 金	6,800	預 り 敷 金	900,000
【固 定 資 産】	【 12,180,778】	長 期 未 払 金	157,410
(有 形 固 定 資 産)	(11,477,093)	リ ー ス 債 務	7,246,260
建 物	1,213,534	負 債 合 計	52,751,767
建 物 附 属 設 備	5,102,140		
機 械 装 置	31,537,823		
車 両 運 搬 具	592,500		
工 具 器 具 備 品	18,946,516		
リ ー ス 資 産	9,932,400		
減 価 償 却 累 計 額	▲55,847,820		
(無 形 固 定 資 産)	(443,280)		
電 話 加 入 権	443,280		
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(260,405)		
出 資 金	36,600		
差 入 保 証 金	85,000		
長 期 前 払 費 用	138,660		
配 当 積 立 金	145		
資 産 合 計	64,624,680	純 資 産 合 計	11,872,913
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	64,624,680

損益計算書

株式会社岩城

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高		257,889,433
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	11,897,961	
仕 入 高	89,562,227	
酒 税	1,128,900	
当期製品製造原価	21,501,717	
* * 合 計 * *	124,090,805	
期 末 棚 卸 高	▲10,189,674	113,901,131
売 上 総 利 益 金 額		143,988,302
【販売費及び一般管理費】		205,332,471
営 業 損 失 金 額		▲61,344,169
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	295	
受 取 配 当 金	300	
雑 収 入	44,257,902	44,258,497
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息	160,818	
雑 損 失	47,879	208,697
経 常 損 失 金 額		▲17,294,369
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 除 却 損		128,000
税引前当期純損失金額		▲17,422,369
法人税、住民税及び事業税		204,099
当 期 純 損 失 金 額		▲17,626,468

【 今 年 度 の 事 業 展 開 】	
○天笠ワイン	
・ 欠数対策として、各人の役割分担の見直しによる組織改革と強化を図る	
・ 少数精鋭部隊を構築する。	
・ 計画的な作業スケジュールにより作業効率の良化と時間的コストの解消。	
・ 不採算製品の製造を中止し、主力商品の製造、販売に特化する。	
・ 甘味果実酒等の不良在庫の処分を計画的に実施。	
・ 「高城」の原料が過剰在庫の状況にあることから、今後、ブラム生産農家からの仕入据置きに向け交渉して行く。	
・ 人材育成 技術向上に向けた派遣研修（広島県・酒類総合研究所 農産食品研究所・花巻市 葡萄酒研究所）	
・ プラム自社農園の維持管理。	
・ 甘味果実酒、リキキュール類製造販売免許取得を模索する。	
○天笠村	
・ 料理人アイインより派遣しているが、コミュニケーションに問題あり人員配置を含め改善良化に努める。	
・ 大河「真田丸」関係地として、地域文化を観光商品化を継続する。（第2期）	
・ 地域伝統食材の製作体験を含めた観光商品化。（例 つばき餅）	
・ イベントの主催及び各行事への積極参加。 将棋大会、天笠冬まつり他	
・ アイインと連携して顧客嗜好、ニーズに合ったメニュー開発と提供に努める。	
・ 人員が高年齢化しており、若手に随時移行して行く。	
○岩城アイランドパーク	
・ 収益基盤の確立と資金繰りの安定が急務。	
・ 経費削減による収益の確保。（水道光熱費、人件費ほか）	
・ 顧客嗜好、ニーズに合ったメニュー・商品の提供に心掛ける。	
・ 「鳥海選りどん」等地魚を利用したご当地メニューが好評。	
・ 各イベントの企画と積極関与、道の駅の日イベントの充実。	
・ 「道の駅」及び「温泉施設」としての公的な役割を担いながら利用客に施設の価値観を見出してもらええる運営に心掛ける。 国交省との連携。	

○平成29年度 事業計画（主要計数）

		単位：千円	
	天笠ワイン	天笠村	アイランドP
総売上	35,000	63,000	197,000
売上原価	26,000	21,000	83,000
販費費	16,500	53,000	136,000
営業利益	△ 7,500	△ 11,000	△ 22,000
			△ 40,500
営業外利益	9,000	14,680	23,000
経常利益	1,400	3,480	6,900
経常利益			52,680
経常利益			11,780

【 目 指 す べ き 合 併 効 果 】	
1.減資計画 資本金1億円に減資する。（節税対策）	
2.総務、経理部門の統合による一元管理の検討。	
①会計システムの統合 ※税理士との協議必要	
②レジシステムの統合 経費負担増大今後の課題	
③その他総務、経理の一元管理とスリム化 人員の確保他	
3.企画、営業力の強化を図れる。	
4.新設部門 独立した企画・営業部門を新設し、3社連携した新会社として企画・営業活動を目指して行く。	
5.売店部門	
①採算の取れるイベント出店。（人材の活用）	
②仕入と在庫の一元管理によるコスト削減とムダを省く。	
③レジシステムを統合し一括管理する。（日計数値他）	
6.人事交流（H27年度より一部実施）	
①人事交流（H27年度より一部実施）	
②人員の適正配置。	
③補充及び補充等柔軟な配置。	
7.経費の削減	
①今計画は人件費を含め各社の過去実績を踏まえた削減数値を基に作成しており更なる圧縮は、十分可能と思慮する。	
②最大の経費である水道光熱費は、水道料金・灯油価格の動向より大きな変化が予想されるが、下水子メーター、節水システム導入等で削減に努めている。	
③修繕費及び保守管理費用は機器老朽化に伴い、経費増が予想されるが計画的保守に努める。	
④その他共通の経費については、一部では合併の効果が出て来ているものの改善・交渉すべき項目もあることから鋭意削減・交渉に努めて行く。	
【課題と今後の方向性】	
・ワイン事業課 販売・製造品（ワイン）の品質低下による顧客離れは否めず、売上不足・仕掛在庫による恒常的な資金不足の傾向が続いている。 社員退職に伴う人件費の圧縮期待。	
・不採算部門の見直しによる作業効率の良化と収益力の向上。	
・天笠村事業課 食装の立て直しと、適正人員配置。	
・食堂メニューの見直しと作業の効率化、食材原価率の改善を図る。	
・アイランドパーク事業課 債務超過に陥っているが、未払金の圧縮等財務内容は良化している。但し、3社共に施設及び各機器の老朽化による経費増が懸念される。	

計 画 の 骨 子	
業種の異なる会社の合併はいろいろ困難も想定されるが現状を鑑み早期に統合することでのスケールアップの有利性、人材交流による組織の活性化、共通経費の削減による収益の確保は十分期待できるものである。	
○本計画については、各社の向こう5ヶ年経営計画書を基に作成した。	
・計画損益計算書について	
売上計画 状況下急激なV字好転は期待できず実勢を踏まえ緩やかな右肩上がりの計画とした。	
収益面 H27年度より黒字転換することを前提とした計画にしている。売上等収益確保と経費削減に努め、単年度黒字化を目指す。	
経費面 前項6に同じ。	
・計画貸借対照表について	
【計画の骨子】	
天笠ワイン	
①仕掛製品（貯蔵品）の処分、新製品の販売	
②営業力の強化、不採算部門の見直しと作業効率	
③資金繰りの改善と経費圧縮（人件費等）	
天笠村	
①食堂部門の改善	
②経費の削減（人件費等）	
③資金繰りの改善	
岩城アイランドパーク	
①未払金の正常化	
②決算黒字化と債務超過の解消	
③経費の削減による資金繰りの改善	
※1.本計画には消費税8%を想定している。（10%は想定外）	

【 計 画 】 損 益 計 算 書

(3社合算)

	H26.3		H27.3		H28.3		H29.3		H30.3		H31.3		明
	実 績	%	実 績	%	実 績	%	実 績	%	計 画	%	計 画	%	
総 売 上 高	283,997	100	293,999	100	292,285	100	292,626	100	295,000	100	295,000	100	
売 上 原 価	129,906	44.2	121,158	41.2	122,672	42.0	130,448	44.6	130,000	44.1	130,000	44.1	
(減価償却額)	-	-	762	-	973	-	873	-	942	-	942	-	
売 上 総 利 益	164,091	55.8	172,801	58.8	169,613	58.0	162,178	55.4	165,000	55.9	165,000	55.9	
販 管 費 計	209,190	71.2	220,089	74.9	207,919	71.1	209,269	71.5	205,500	69.7	205,500	69.7	
(減価償却額)	-	-	4,013	-	2,388	-	2,572	-	563	-	563	-	
営 業 利 益	-45,099	-15.3	-47,288	-16.1	-38,306	-13.1	-47,091	-16.1	-40,500	-13.7	-40,500	-13.7	
営 業 外 収 益	42,199	14.4	45,353	15.4	44,847	15.3	45,521	15.6	52,680	17.9	52,680	17.9	
受取利息・配当金	1	0.0	3	0.0	3	0.0							
その他	42,198	14.4	45,350	15.4	44,844	15.3	45,521	15.6	52,680	17.9	52,680	17.9	
営 業 外 費 用	180	0.1	829	0.3	369	0.1	418	0.1	400	0.1	400	0.1	
支払利息・賃料	106	0.0	24	0.0	67	0.0	115	0.0	200	0.1	200	0.1	
その他	74	0.0	805	0.3	302	0.1	303	0.1	200	0.1	200	0.1	
経 常 利 益	-3,080	-1.0	-2,764	-0.9	6,172	2.1	-1,988	-0.7	11,780	4.0	11,780	4.0	
特 別 利 益			800	0.3									
固定資産売却益													
その他			800	0.3									
特 別 損 失			410	0.1			135	0.0					
固定資産売却・除損							135	0.0					
その他			410	0.1									
税引前当期利益	-3,080	-1.0	-2,374	-0.8	6,172	2.1	-2,123	-0.7	11,780	4.0	11,780	4.0	
法 人 税 等	552	0.2	1,114	0.4	2,150	0.7	1,555	0.5	384	0.1	384	0.1	
当 期 利 益	-3,632	-1.2	-3,488	-1.2	4,022	1.4	-3,678	-1.3	11,396	3.9	11,396	3.9	
(減価償却額)	-	-	4,775	-	3,341	-	3,445	-	1,505	-	1,505	-	
税務上の欠損金													
前期繰越利益	▲ 79,337		▲ 82,828		▲ 86,896		▲ 82,874		▲ 86,552		▲ 75,156		
利益処分等	▲ 141		580										
次期繰越利益	▲ 82,828		▲ 86,896		▲ 82,874		▲ 86,552		▲ 75,156		▲ 63,760		
自己資本	34,644		29,155		33,177		29,499		40,895		52,291		
不良資産残高													
実質次期繰越利益	▲ 82,828		▲ 86,896		▲ 82,874		▲ 86,552		▲ 75,156		▲ 63,760		
実質自己資本	34,644		29,155		33,177		29,499		40,895		52,291		
長期借入金	1,469		0		0		0						
短期借入金	5,000		10,000		10,000		15,000						